

## 2005 年度 ANA グループ 航空輸送事業計画を策定

～ 国際線では、広州への新規路線など中国路線を増強、小型機材の多頻度化を展開 ～  
～ 国内線では、地上輸送機関を含めた「総合輸送戦略」を構築 ～

ANAグループでは、2005 年度(2005 年 4 月 1 日～2006 年 3 月 31 日)の航空輸送事業計画を策定、「アジアでナンバーワン」の経営ビジョン達成に向けた「安定経営」から「価値創造経営」への着実な進化を目指して参ります。

国際線では、中国路線を中心としたネットワークの拡充と新機種導入、小型機材の多頻度運航などを行い、収益力の拡大を図ってまいります。

国内線では、「JET & PROP 戦略」など需給適合・多頻度化を進める一方でスーパーシート・プレミアムなど、お客様に高品質なサービスを提供し「ANA らしさ」をアピールして参ります。

貨物事業においても、中型貨物専用機の増機による積極的な展開を図ります。

2005 年度 ANA グループ航空輸送事業計画の詳細は次の通りです。

### 1. 国際線事業の概要...中国路線ネットワークの増強と小型機材による多頻度運航

- (1) 中国路線の新規開設で増強...成田＝広州線、中部＝広州線などを新規開設、週あたり計 140 便と中国路線のネットワーク規模を約 1.3 倍の便数(現在週 112 便)に増強します。
- (2) 中部国際空港を中心に効率化を推進...内陸ボーダレスでの機材・リソースの共有化を推進、B737 - 700 型機などによる日本～中国路線を簡単・便利にご利用いただけるよう推進します。

### 2. 国内線事業の概要...「総合輸送戦略」を構築、航空利便性をさらに推進

- (1) 中部国際空港をモデルに総合輸送戦略の構築...地上交通機関との接続ダイヤ設定の工夫により、総旅行時間の短縮による利便向上を目指してまいります。
- (2) 大阪・中部における「JET & PROP 戦略」の構築と定着...需給適合と多頻度による競争力向上を図るため、「JET & PROP 戦略」を展開します。

### 3. 国際線および国内線の生産量

事業規模前年比	国際線(ANK 便含む)	国内線
運航回数	111%	105%
座席数	100%	100%

\* 各項目の詳細は、次項をご参照ください。

\* これらの計画は関係当局の認可を前提としております。

## 1. 国際線事業

### (1) 中国・アジア路線の増便

中部＝上海線の開設に引き続き、広州線の新規開設(成田＝広州線、中部＝広州線)など旅客需要、貨物需要の旺盛な中国路線を更に増強し、コードシェアを含めると、週あたり最大、計 189 便となります。

昨年ウインターダイヤより運航している成田＝バンコク線の週 14 便を継続します。

羽田＝金浦線については、需要動向に応じて、現行 B767 300ER 型機(最大 216 人乗り)の機材を B777 200 型機(最大 418 人乗り)へ大型化することを検討します。

路線	便数	運航開始日	運航機種
成田＝広州*	週 3～7 便	2005 年 4 月 25 日	B767-300ER
中部＝広州*	週 7 便	2005 年 12 月予定	B737-700
中部＝その他中国*	週 7 便	2006 年 2 月予定	B737-700
成田＝バンコク	週 14 便	2005 年 3 月 27 日	B767-300ER

\*関係国間協議などの諸条件が整い次第、就航いたします。

### (2) B777-300 型機のニューヨーク線投入を含めた「北米 B777 化計画」

機内ではインターネットもご利用可能な最新鋭の B777-300ER 型機を増機し、「New Style, CLUB ANA」をはじめとする「ANAらしい」サービスが北米線の空を快適にしていまいります。

路線	便数	運航開始日	運航機種変更後	(現行運航機種)
成田＝ニューヨーク	週 7 便	2005 年 5 月 12 日	B777-300ER	B747-400
成田＝ロサンゼルス	週 7 便	2005 年 10 月予定	B777-300ER	B777-200ER
成田＝サンフランシスコ	週 7 便	2006 年 3 月予定	B777-300ER	B777-200ER

### (3) 貨物事業

中型貨物専用機の B767-300F(最大 50 トン積載)の機材を使用し、引き続き上海線、大連線、天津線など中国路線に、週間 12 便の運航を予定しております。

## 2. 国内線事業

ANA グループおよび提携航空会社に加えて、地上輸送機関を含めた「総合輸送戦略」を構築し、お客様の視点に立った輸送計画を推進してまいります。また、需給適合を推進する FAM の進化版である「ウィークエンド FAM」を本格運用し、平日・週末における路線便数計画、運航機材の使い分けを実施し、収益性の極大化をさらに進めてまいります。あわせて、福岡を中心に 6 月からエアーネクストの運航を開始し、効率的な体制を構築します。

### (1) 伊丹発着路線...需給適合と多頻度による競争力向上を図るため、「JET & PROP 戦略」の一環として 10 月以降、新潟線や松山線を計画しております。

路線	実施時期	内容	現行
伊丹＝新潟	10 月～	増便予定	2 便/日 (JET2 便)
伊丹＝松山	10 月～	増便予定	5 便/日 (JET3 便 + PROP2 便)

(2) 関西発着路線...札幌、沖縄をはじめとする長距離路線を増便します。

路線	実施時期	内容	増減便数	実施後便数
関西 = 札幌	4 月 ~	増便	+1 便 (4 ~ 6 月は +2 便)	3 ~ 4 便/日
関西 = 沖縄	7 月 ~	増便	+1 便	3 便/日
関西 = 鹿児島	4 月 ~	増便	+1 便	2 便/日
関西 = 宮崎	4 月 ~	増便	+1 便	2 便/日
関西 = 女満別*	4 月 ~	通年化	+1 便	1 便/日

\*04 年度は季節運航(4-5 月、11-1 月)路線

(3) 貨物事業

好調な航空貨物需要に応えるべく中型貨物専用機(B767-300F)を活用、深夜貨物便として、羽田 = 佐賀線に投入する他、中部 = 佐賀線、羽田 = 関西線の開設を計画いたします。(2006 年 1 月予定)

路線	便数	運航開始日	運航機種変更後	(現行運航機種)
羽田 = 佐賀*	7 便 / 週	06 年 1 月 ~	B767-300F	B767-300
中部 = 佐賀	7 便 / 週	06 年 1 月 ~	B767-300F	-
羽田 = 関西	4 便程度 / 週	06 年 1 月 ~	B767-300F	-

\*羽田 - 佐賀線は、2004 年 7 月 7 日より、旅客機の貨物スペースにより週 14 便運航していたが、06 年 1 月より、貨物専用機にて就航予定

### 3. 機材計画

ANA グループの機材に関する新規導入および退役計画は次の通りです。

	導入計画	退役計画
	機種(機数)	
ANA	B777-300ER(3 機)	B747-SR/LR(4 機)
	B777-200(2 機)	-
	B767-300ER(1 機)	A320(2 機)
	B767-300F(2 機)**	-
ANK	B737-700(4 機)***	B737-400(2 機)
エア・セントラル*	DHC8-400(3 機)	-

\*現中日本エアラインサービスが 2005 年 2 月 17 日より社名を変更。

\*\*B767 貨物専用機の第 2 号機、3 号機として導入。

\*\*\*新規導入

以上